

京都こども宅食プロジェクト 2019 年度報告書

内容

1. 事業の概要	-----p2
2. 事業の実施内容	-----p2
3. 事業に対する寄付物品等	-----p3
4. 収支報告	-----p4-5
5. アンケート調査について	-----p5-8
- アンケート調査の概要	-----p5
- アンケート調査の結果と考察	-----p5-8
6. 課題・問題点と対策	-----p9-10
7. 今後の予定	-----p10
8. 京都こども宅食プロジェクトより	-----p11
参考資料 1	
利用者の声	-----p12
参考資料 2	
第 1 回配送実施の様子	-----p13
第 2 回配送実施の様子	-----p14
添付資料	
図表 1～7	-----p15-21



京都子ども
宅食プロジェクト

プロジェクト名	京都こども宅食プロジェクト
プロジェクトの責任者	社会福祉法人 あだち福祉会 理事長 畑山 博
開始日	2019年 4月 1日
終了日	2020年 5月 31日

1. 事業の概要

- ▶ 京都市内で生活保護世帯や就学援助世帯等の子どもがいる家庭に食品を届けることにより、家庭を見守り、いち早く困りごとに気づき、必要な支援につないでいく取組を目指す。先だって、京都市伏見区の3小学区において、本取組をモデル的に実施し、地域連携支援事業として事業構築し、全市展開するための実証研究を行う。
- ▶ 配送時のコミュニケーションやアンケート等により利用者の困りを引き出し、求めている情報や支援等を提供するとともに、民間主導のアウトリーチ型のこども宅食事業が、地域の既存支援（子ども食堂、学習指導等）の取組を連携・応援することで、既存事業が実効あるものとなるようにする。（頑張っている地域の子育て支援の応援ツールとしての役割を担う）
- ▶ 上記の取組については、地域の商店街や農家、市内企業、団体等からの寄付金や寄付物品を元を実施する。

2. 事業の実施内容

第1回配送	対象世帯	次のいずれかの制度を利用する子育て世帯 1. 就学援助制度 2. 生活保護制度
	対象世帯数	約 400 世帯
	実質利用世帯数	93 世帯
	配送実施日	2020年2月22日から順次配送
第2回配送	対象世帯	次のいずれかの制度を利用する子育て世帯 1. 就学援助制度 2. 生活保護制度
	対象世帯数	約 400 世帯
	実質利用世帯数	124 世帯
	配送実施日	2020年3月20日から順次配送

3. 事業に対する寄付物品等

	分類	企業名	寄付物品の内容	総数
寄付物品	食品	森永乳業(株)	・絹ごしとうふ(290g) ・こどもミルク(224g)	330 個 330 個
		(株)アイセイ薬局	・レトルトカレー	130 個
		(医)足立病院 畑山博理事長 (土佐清水市へのふるさと 納税の返礼品)	・ドレッシング 小夏ノンオイル	100 個
			・ドレッシング にんじん	100 個
			・かつおぶし(姫かつお)	200 個
			・卵かけご飯専用極上宗田節 ・宗田節割れおかき	200 個 200 個
	同上	・かつおぶし(姫かつお)	200 個	
	お菓子	(株)ロマンライフ マールブランシュ	・バレンタイン京サブレ(8枚入り) ・お菓子	122 個 93 個
		ネスレ日本(株)	・キットカット(165.5g) ・ミロ(240g)	230 個 230 個
		(株)聖護院八ツ橋総本店	・八ツ橋(120g)	230 個
		日東薬品工業(株)	・乳酸菌ショコラ - 板チョコタイプ(ミルク・ビター・ カカオ 70)約 85g	198 個
			- アーモンド入りタイプ(ミルク・ビ ター・カカオ 70)約 110g	210 個
	(福)愛誠会アトリエポルト	・クッキー	100 個	
	シリアル	日本ケロッグ(合)	・チョコワ(1袋 150g-200g 程度)	204 個
			・チョコフリスビー	12 個
			・フルーツグラノーラ	12 個
			・玄米フレーク	12 個
飲料	カゴメ(株)	・野菜生活ジュース	144 個	
医療品	(株)アイセイ薬局	・ハンドクリーム	210 個	
玩具	レゴジャパン(株)	・レゴブロック - 男の子用スターウォーズ - 女の子用 Friends	200 個	
原価提供品	食品	山田ファーム	・お米 2kg	130 個
		高宮農園	・お米 2kg	100 個
		(株)京都放送	・レトルトカレー	400 個
	お菓子	地元商店街(不二家)	・ミルク	288 個

4. 収支報告

収入				
科目	数量	単価	金額	摘要
寄付金	1	30,000	30,000	(株)FUKUDA より
寄付金	1	300,000	300,000	いわいレディースクリニック より
寄付金	1	100,000	100,000	石黒メディカルシステム(株) より
寄付金	1	50,000	50,000	個人情報により省略
寄付金	1	1,000,000	1,000,000	個人情報により省略
寄付金	1	30,000	30,000	個人情報により省略
寄付金	1	604,855	604,855	(医)足立病院 より
合計				2,114,855

支出				
科目	数量	単価	金額	摘要
通信費	1	5,494	5,494	電話回線工事
通信費	1	22,000	22,000	電話回線設定
通信費	1	336	336	切手代
商品	200	300	60,000	白米 2kg
商品	130	200	26,000	白米 2kg
商品	400	270	108,000	レトルトカレー
商品	288	117	33,696	ミルク
交際費	3	4,000	12,000	交際費
交際費	1	4,710	4,710	梱包時飲料代
業務委託費	1	200,000	200,000	フローレンスとの取組連携
業務委託費	1	185,141	185,141	2月配送費(ココネット(株))
業務委託費	1	180,246	180,246	3月配送費(ココネット(株))
業務委託費	1	467,500	467,500	プロジェクトマネジメント費 (NPO 法人コトハナ)
広告宣伝費	600	92	55,000	チラシの作成
広告宣伝費	600	92	55,000	チラシの作成
広告宣伝費	1	6,545	6,545	ポスターの作成
支払手数料	4	440	1,760	振込手数料
支払手数料	3	220	660	振込手数料

備品・消耗品費	45	100	4,500	米用袋
備品・消耗品費	50	130	6,500	米用袋
備品・消耗品費	1	1,966	1,966	梱包時の軍手
備品・消耗品費	1	880	880	梱包用のカッター
備品・消耗品費	1	1,254	1,254	梱包用のカッター
合計				1,439,188

収支決算	675,667 円
------	-----------

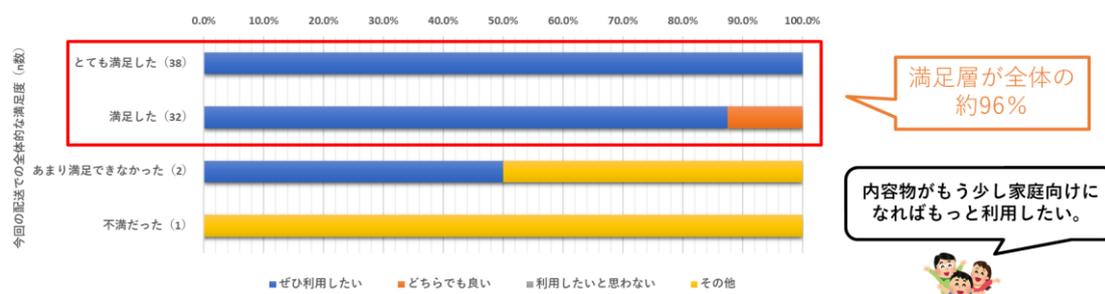
5. アンケート調査について

- (1) アンケート調査の概要

測定方法	2020年3月度の食品配送時、及び食品配送後に公式 LINE アカウントを介して web 入力式の第1回アンケートへの回答を依頼
評価対象期間	2020年2月(第1回配送後)から2020年3月(第2回配送)
実施期間	2020年3月20日から2020年4月31日(第1回アンケート)
調査対象	124世帯
回収数	73世帯
回収率	58.9%

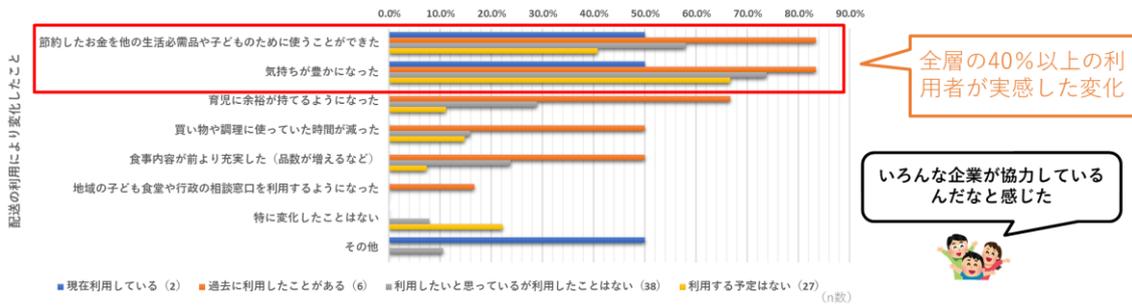
- (2) アンケート調査の結果と考察

【配送の満足度と今後の利用意思】 (図表1)



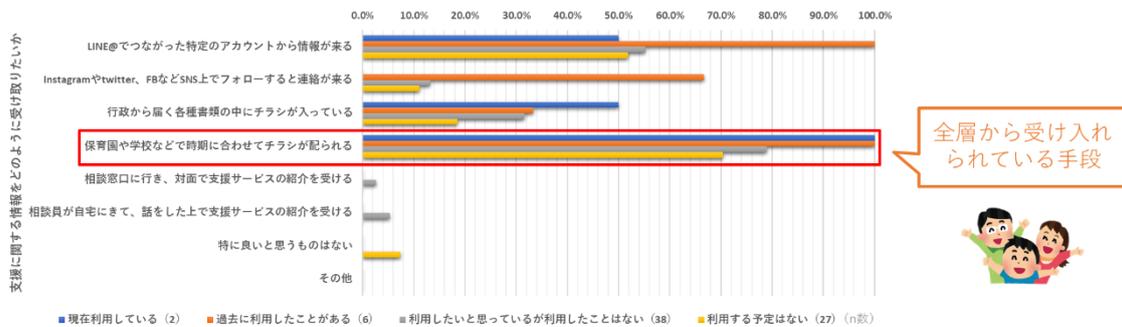
今回の配送に対する満足度は、満足層(とても満足した・満足したの合計)が約96%と非常に高く利用者のニーズにおおよそ応えることができたと言える。また、満足層以外(あまり満足できなかった・不満だったの合計)に注目すると、「今後利用したいと思わない」と回答した件数は0件であり、「その他」の回答が大半を占めていることから、今後その原因を改善することにより、さらに満足度を上昇させ、利用者の安定的なリピートと対象家庭との長期的な関係性構築に繋げることができるかと推測できる。

【子ども食堂の利用有無と配送による変化】（図表2）



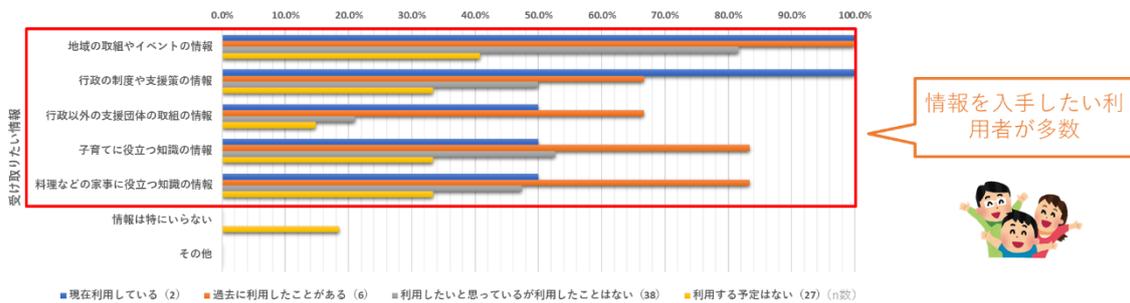
全体的に、「節約したお金を他の生活必需品や子どものために使うことができた」という実用的な変化と「気持ちが豊かになった」という精神的な変化を感じた利用者が多数いたことが読み取れる。特に、子ども食堂を利用したことのない層（利用したいと思っているが利用したことはない・利用する予定はないの合計）は、他の回答と比較しても顕著に上記の2つを実感していることがわかる。また、子ども食堂を利用したことのある層（現在利用している・過去に利用したことがあるの合計）よりも、利用したことのない層の方が、配送の利用により多様な変化を実感している傾向にある。

【子ども食堂の利用有無と理想的な情報入手手段】（図表3）



全体的には子ども食堂の利用有無は、支援に関する理想的な情報入手手段に大きな影響を与えないことがわかる。そして、全層において「保育園や学校などで時期に合わせてチラシが配られる」や「LINE@でつながった特定のアカウントから情報が来る」といった手段が理想的であることが読み取れる。前者は、子どもを介して直接つながりのある信頼性の高い機関であるため、利用希望が高くなっていると考えられる。また後者は、デジタル化が進む現状を考慮すると当然の結果であり、当プロジェクトのLINE公式アカウントによる情報発信を活かせることを示唆している。

【子ども食堂の利用有無と入手したい情報】 (図表4)



すべての層において、幅広く支援情報やイベント情報、様々な知識にまつわる情報等を入手したいと考えていることがわかる。子ども食堂を利用したことがない層は、利用したことがある層に比べて、いずれの情報も「受け取りたい」とする割合が低く、自ら情報を収集する力が弱い可能性がある。しかしながら、子ども食堂を利用する予定がない層においては、一定割合の利用者が情報を不必要であると主張している。本当に情報を必要としていない家庭であるのか、困りごとがあるにも関わらず情報を入手する姿勢を持ち合わせていないのかを調査する必要がある。

【今回良かった物と今後欲しい物】 (図表5)



お米のように日常的に消費する物やお菓子のように子どもが喜ぶ物は、非常に人気が高く多くの利用者から喜びの声が寄せられた。一方で、食料品ではインスタント食品やレトルト食品のように日持ちするものを求める利用者が多く、食料品以外では日用品・文房具のように日常のかつ継続的に使用する物品が役立つ物として挙げられた。今後の配送では、これらのニーズに最大限応えられるように努めていく必要がある。

【地域での支援の利用有無と利用者の傾向 Vol.01】 (図表6)

		n数	問11) 以下に挙げる考えのうち、ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。										
			A: 困ったとき、悩んだときの相談相手や場所がわからない					C: 行政や支援団体に支援を受けても、それを他人に知られたくない					
			とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	
全体		73	19.2	19.2	24.7	23.3	13.7	28.8	24.7	31.5	11.0	4.1	
問7) あなたは、次のものについて、これまでに実際に利用したことがありますか。	G: 地域の子ども食堂	現在利用している	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		過去に利用したことがある	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
		利用したいと思っているが利用したことはない	38	23.7	18.4	23.7	23.7	10.5	36.8	26.3	21.1	10.5	5.3
		利用する予定はない	27	14.8	14.8	22.2	25.9	22.2	18.5	22.2	40.7	14.8	3.7
	H: 地域の学習支援	現在利用している	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
		過去に利用したことがある	7	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0
		利用したいと思っているが利用したことはない	45	24.4	15.6	20.0	24.4	15.6	33.3	22.2	26.7	13.3	4.4
		利用する予定はない	18	11.1	16.7	33.3	22.2	16.7	27.8	22.2	33.3	11.1	5.6

地域での支援を利用したことの無い層(地域の子ども食堂や学習支援を利用したことがない又は利用する予定はないと回答した合計)では、困った際に相談する相手や場所を確保できている人といない人の割合がおおよそ同程度となっている。一方で、同層において、支援を受けても知られたくないという利用者が非常に多いことから、今後の支援方法やそこでの匿名性の確保が大きな課題となりそうである。周囲の目を気にせず、支援を受けることができれば、その支援への需要は増加すると予測できる。

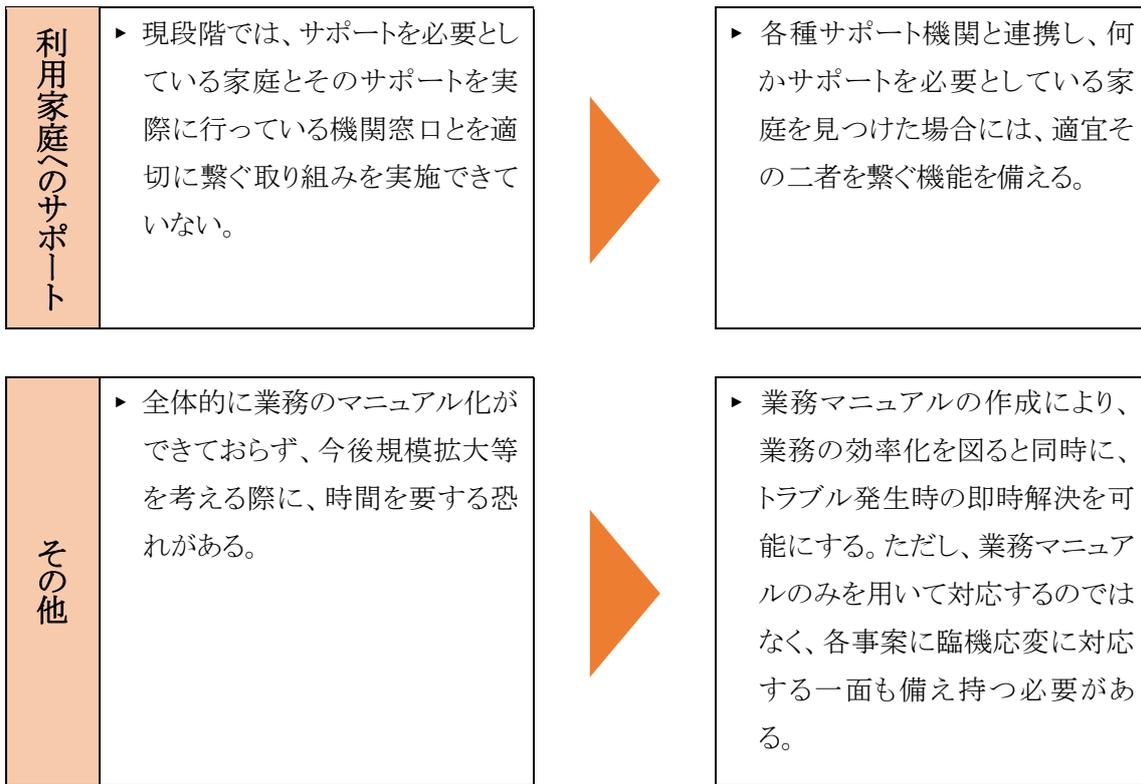
【地域での支援の利用有無と利用者の傾向 Vol.02】 (図表7)

		n数	問11) 以下に挙げる考えのうち、ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。										
			B: 人に相談してもどうせ解決しない、自分自身で解決した方が良い					D: 手続きややりとりが面倒で、福祉サービスの利用を諦めたことがある					
			とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	
全体		73	13.7	26.0	39.7	13.7	6.8	13.7	32.9	24.7	19.2	9.6	
問7) あなたは、次のものについて、これまでに実際に利用したことがありますか。	G: 地域の子ども食堂	現在利用している	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
		過去に利用したことがある	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
		利用したいと思っているが利用したことはない	38	15.8	23.7	44.7	7.9	7.9	10.5	42.1	26.3	13.2	7.9
		利用する予定はない	27	14.8	25.9	33.3	18.5	7.4	14.8	14.8	25.9	29.6	14.8
	H: 地域の学習支援	現在利用している	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
		過去に利用したことがある	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0
		利用したいと思っているが利用したことはない	45	17.8	31.1	28.9	15.6	6.7	15.6	33.3	33.3	11.1	6.7
		利用する予定はない	18	11.1	11.1	61.1	5.6	11.1	5.6	22.2	11.1	44.4	16.7

地域での支援を利用したことの無い層では、『他人に相談しても仕方ない・自ら解決した方が良い』と考えている利用者が多く、支援を諦めている利用者が多くいることがわかる。アウトリーチにより、利用者にアプローチし、周囲に頼ることで解決に近づく可能性があることを知ってもらう必要がある。また、地域での支援を利用したいがしたことの無い層では、その支援における手続きややりとりを煩雑に感じている傾向にあるため、手続きの簡易化や電子化等、臨機応変に対応し、その煩雑さを取り除くことが重要となるだろう。

6. 課題・問題点と対策

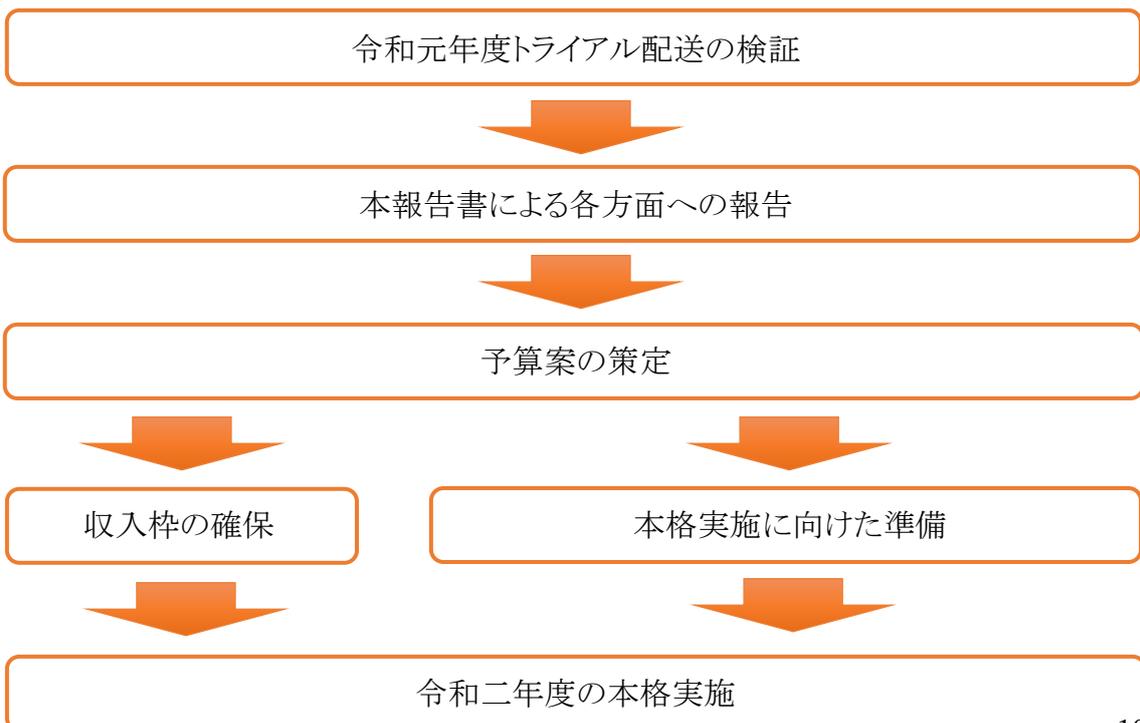
	課題と問題点	対策
外部向け業務面	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公式 LINE アカウント登録後、利用本登録をする際に、何らかのトラブルで登録が完了せずに利用者との間でトラブルになる事案が発生している。(10件以上) ▶ 利用者とコミュニケーションを取る際や不在の際の対応において、配送業務委託会社との間でマニュアル化とその共有が行われておらず、利用者に不快な思いをさせてしまうことがある。また、それに伴ってトラブル発生時の対応に時間がかかる傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本プロジェクト独自のホームページを構築し、申込フォームを完全に管理できる環境を整える。また、LINE とメールを用いた二重の確認を実施し、トラブルの発生を防ぐ。 ▶ 配送の際の利用者とのコミュニケーションや不在の際の対応においては、言動マニュアルを作成し、配送業務委託会社との間で共有する。また、マニュアルから外れる事案に関しては、その旨を記した書類を共有し、迅速にトラブル対応できるようにする。
収支面	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 令和二年度以降の本プロジェクト本格実施に向けて、安定した財源を確保する必要がある。都度の(単発)寄付では、一時的な財源確保に留まり、継続的な実施は難しい。しかし、本プロジェクトはアウトリーチにより継続的に対象世帯と繋がり、関係性を築くことが重要であるため、早急に解決しなければならない課題であると認識している。また、寄付の決済方法に関しても、銀行振込のみでは限定的な寄付しか行われないため、決済方法を多様化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 左記課題を解決するにあたり、今後は寄付方法及び決済方法に多様性を持たせることで幅広く、そして継続的な財源の確保に努める。 <p>《寄付方法の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都度の(単発)寄付 <ul style="list-style-type: none"> - 金額を自由に設定 ・継続寄付 <ul style="list-style-type: none"> - 初回に定めた定額を年 or 月に一度定期的に寄付 ・ふるさと納税の活用(未定) 等 <p>《決済方法の例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銀行口座振込 ・クレジットカード決済



7. 今後の予定

今後は、令和二年度での本格実施に向けて、次のように準備を進める。

なお、本格実施を行うか否かの判断は、『本報告書による各方面への報告』後直ちに行い、行わないと判断した場合は、その時点で終了し、それ以降は以下の予定に沿って行わないものとする。



8. 京都子ども宅食プロジェクトより

京都子ども宅食プロジェクトは、一人の人間が子ども宅食の存在を知り、京都においてもその必要性を見出したことで立ち上がったプロジェクトである。一人、二人と賛同者が増加し、今では「社会福祉法人 あだち福祉会」・「京都市」・「一般社団法人 子ども宅食応援団」の三者が協定を結び、政令指定都市として初となる子ども宅食として、その活動の輪を広げている。

世界中には、絶対的貧困に苦しむ子どもたちが大勢いる。着ることを躊躇し、食べることに悩み、住むことに苦しみ、学ぶ機会を与えられない子どもたちが多く存在している。このような絶対的貧困は、目で確認することができるため、支援の手を伸ばし易い。事実、まだ十分では無いものの、UNICEF 等も多くの支援を行っている。

では、一方で日本国内ではどうだろうか。このような絶対的貧困に苦しむ子どもたちを目の当たりにすることは、非常に珍しいことだろう。しかしながら、日本国内には貧困に苦しむ子どもたちが大勢いる。7 人に 1 人の子どもたちが、そのような状況下にあるという統計も出ている。それが、相対的貧困である。これは、絶対的貧困とは異なり、一目でわかるものではない。だからこそ、支援の手が充足していないのだ。その中でも、地域の支援や行政の支援に自ら辿り着くことができず、また周囲に相談することができずに、ひとりで悩み苦しんでいる方々も多くいる。

子ども宅食は、そのような家庭の方々に対して、アウトリーチにより適切にアプローチし、生活面を支援すること、各世帯との関係性を構築し気軽に相談できる相手となること、適切な支援と結び付けることを目指している。言わば、この国に無くてはならない取り組みなのである。それは、京都でも同様であり、京都であるからこそ、先駆的にこのような取り組みを行い、周囲にその活動の輪を広げる役割と責任を担っているのである。

しかしながら、この取り組みが社会にとって欠かすことのできない活動であっても、皆様の支援がなければ決して成立しない。この活動を支えてくださる方々がいるからこそ、我々はアクションを起こし続けることができるのである。そこで以下の言葉を本報告書の締め言葉とさせていただきます。

皆様からのこれまでのご支援に感謝申し上げますとともに、皆様に支えられて成立しているこの京都子ども宅食プロジェクトを長期的に継続させるためにも、引き続きのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

(参考資料 1)

利用者の声



届きました。ありがとうございます😊
どれも素敵な物で感動しました😍
ハンドクリームも素敵でした😊



とても沢山届き
オモチャまで貰い
子供達はすごく喜んでました(^^)



2名の方が自宅まで届けて下さいました。LEGOのプレゼントを娘に手渡し、娘が大変喜んでいました。届けてくださった食材の内容も豊富で、大変ありがたいです。本当にありがとうございました。



こんにちは。
このたびは本当にありがとうございます！子どもと楽しみに待って
おりましたので、届いたときは本当に喜んでいました。
私自身も、たくさんの食品が入っていてとても助かります。感謝です！！
皆さま本当にありがとうございました。



今世間がコロナで大変な中、わざわざお家まで届けて頂いてありがとうございます！

渡して頂いた箱が予想以上に大きく、開けて更に驚きました。

こんなに頂いてしまって良いのだろうか...と、とても驚いています。

まさかおもちゃまで頂けると
は思ってもいなかったもので、子供も凄く喜んでます！

ご協力頂いている企業様、宅食プロジェクトの皆様本当にありがとうございます。

大事に食べさせていただきます！



今回は、雨の中自宅まで届けてくださり、ありがとうございました。
子供達も喜んでいました！普段、口にすることのできない食品など、たくさんいただき本当にありがとうございました。
私自身、体調が悪く買い物も辛い日がありますので、本当に助かりました。心より御礼申し上げます。



中身が分からない様に無地の箱での配達での御配慮
また配達員の方のご丁寧な対応に大変感じが良く、また米や価格が高いと感じる商品まで非常に助かります
何と言っても息子はLEGOが大好きで毎日遊んでます
2回目も楽しみです



今、食品届きました。
ありがとうございます😊

中身を見て、箱一杯に色々な食品が入っていて、ビックリしました。

そして、子供たちにはLEGOのおもちゃまで..

本当に助かります。
ありがとうございました。



とってもたくさんの品を頂きありがとうございます😊あれもこれもと嬉しそうに子どもたちが大喜び😊本当にありがとうございます😊次回もたのしみしています😊



今日届きました！
思っていた以上に沢山いろんな物が入っていて親子共々、喜んで
います。
来月も楽しみにしています！



ありがとうございました。



届きました😊
沢山入っていて、本当に助かります。
クッキー😊好きな子供達は喜ぶと思います。
ありがとうございます😊



この度は暖かいご支援をいただき、ありがとうございましたm(_ _)m
😊
子供が喜ぶ物ばかりが詰め込まれてて宝箱の様でした😊😊
こども宅配プロジェクトの皆様はじめ、賛同して下さった企業の皆様
の温もりに感謝でいっぱいです。
本当にありがとうございましたm(_ _)m😊



お礼のお返事が遅くなって申し訳ありませんでした。
26日に確かに荷物を受け取りました。
子供だけでなく主人や私もとても嬉しく思いました。
頂いた食材の中には普段自分では買わないような食材もあり、
どういう風に料理しようかと考えるのも楽しみです。
次回も楽しみに待っています。本当にありがとうございました。



2回目から申し込みして
発送をすごく楽しみにしていました！

届いた時は
大きいダンボールを渡されて
開けてみると
お菓子にお米など
色々なものが入っていて
なかなか高くて買ってあげられないものが入っていたりで
子供達が大喜びしていました。

コロナで休校になり
子供達のおやつなどに
すごく助かりました。
本当にありがとうございます。



あだち福祉会様
先程届きました😊
本当に沢山の美味しそうな食品ありがとうございます❤️
食べるのがとても楽しみです❤️

LEGOのプレゼントも
子どもたち大変喜んでおり
感謝がありません😊
本当に本当にありがとうございます😊😊😊😊😊



ありがとうございます。
凄く助かります。
子供たちも、いかにすごく
喜んでます。
感謝がありません。
これからも宜しくお願いいたします😊🙏

(参考資料 2)

第 1 回配送実施の様子



ボランティアの皆さん



お米の計量



梱包作業



第 1 回配送の中身

第2回配送実施の様子



ボランティアの皆さん



挨拶と自己紹介



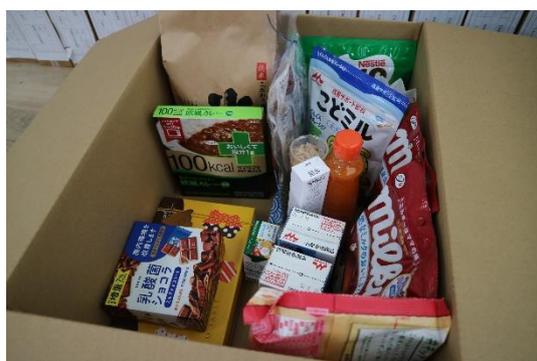
梱包作業



梱包内容の最終確認

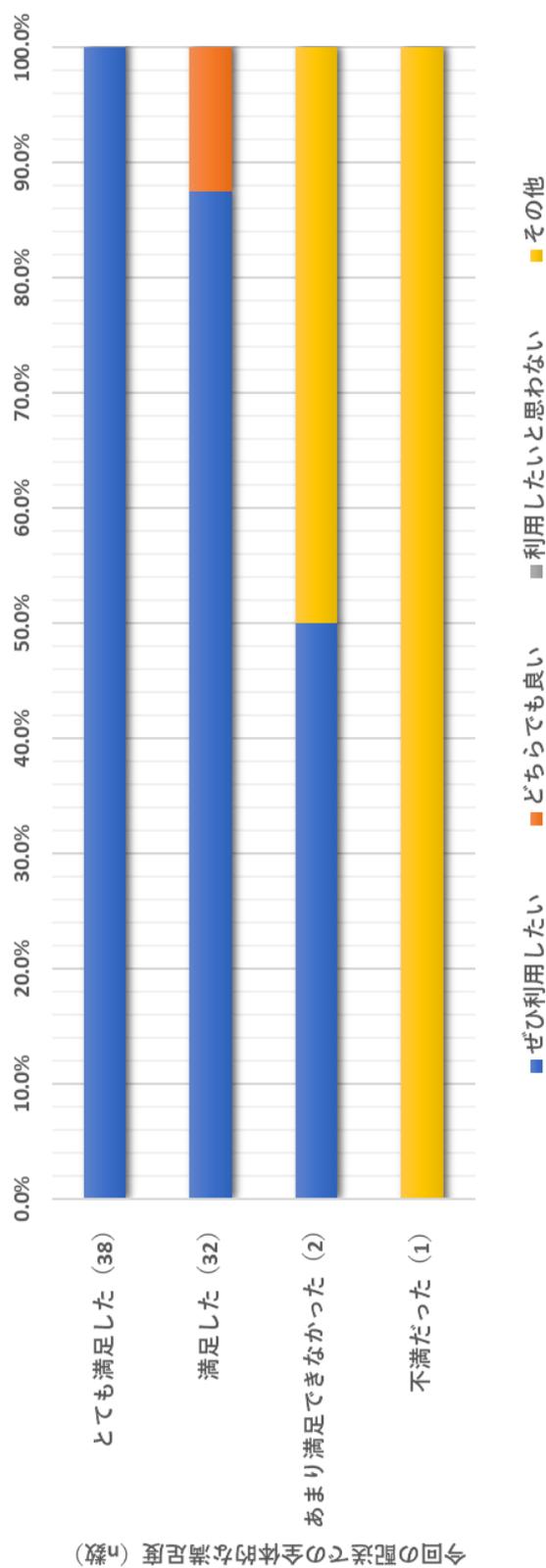


配送準備



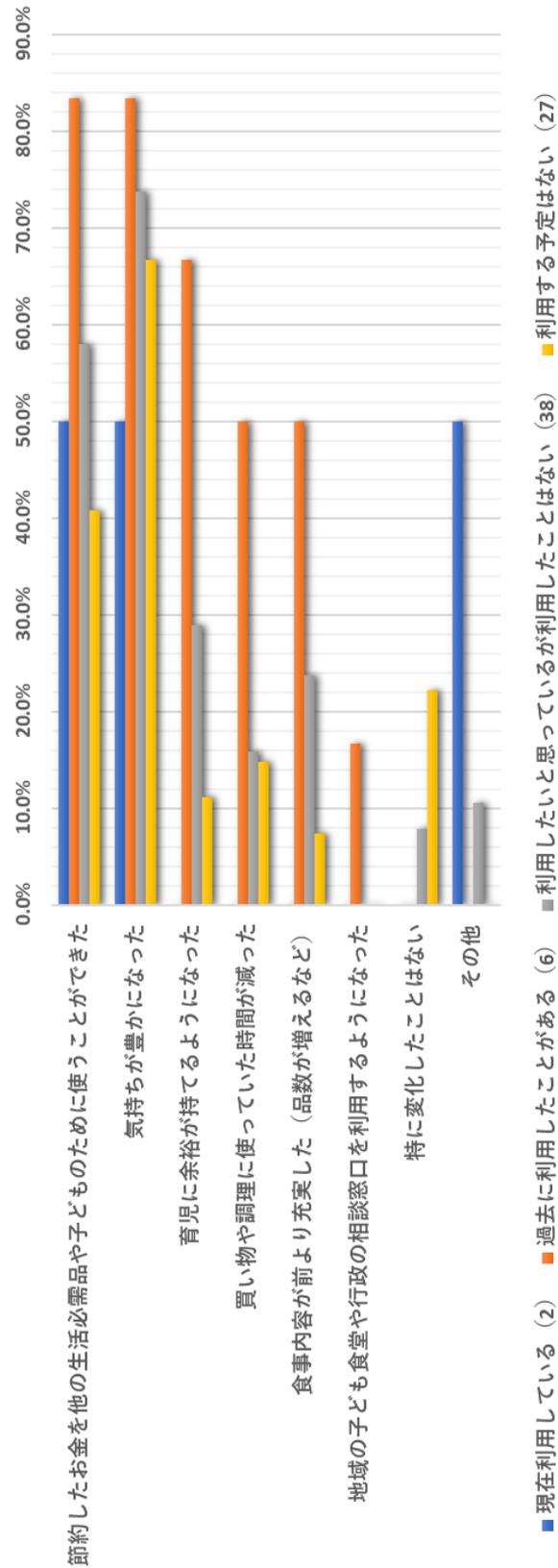
第2回配送の中身

(添付資料)



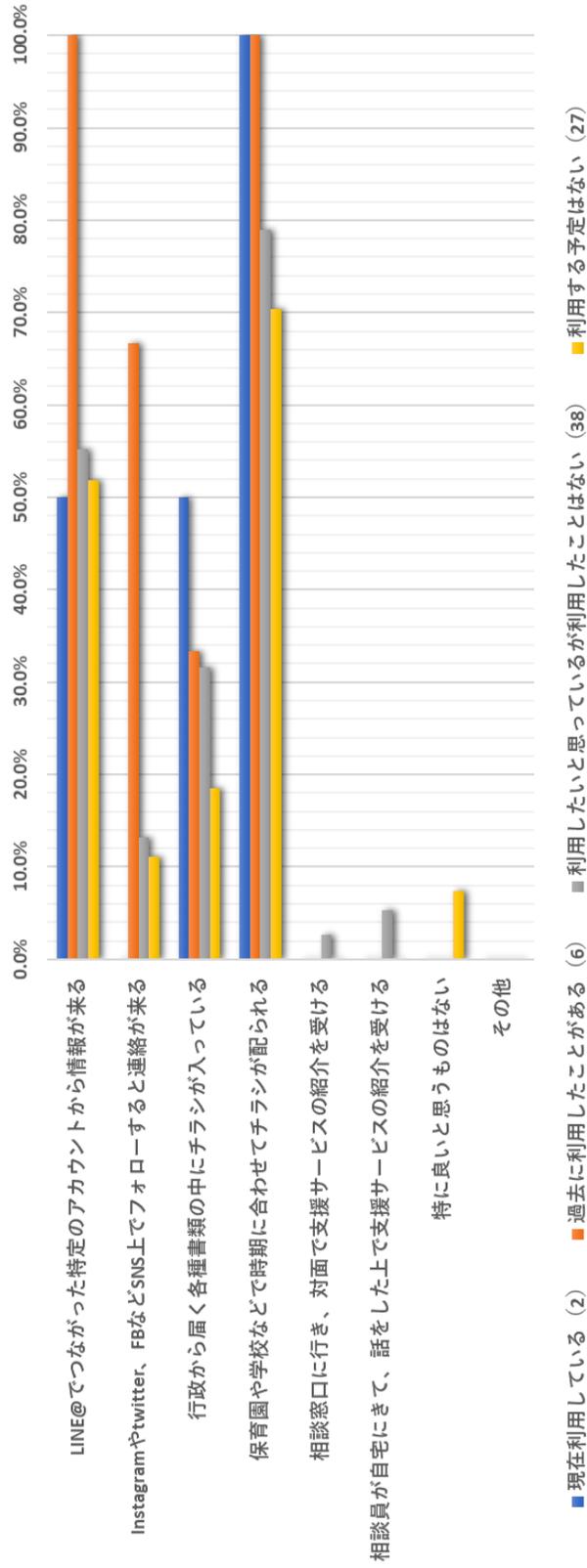
【図表1 配送の満足度と今後の利用意思】

配送の利用により変化したこと

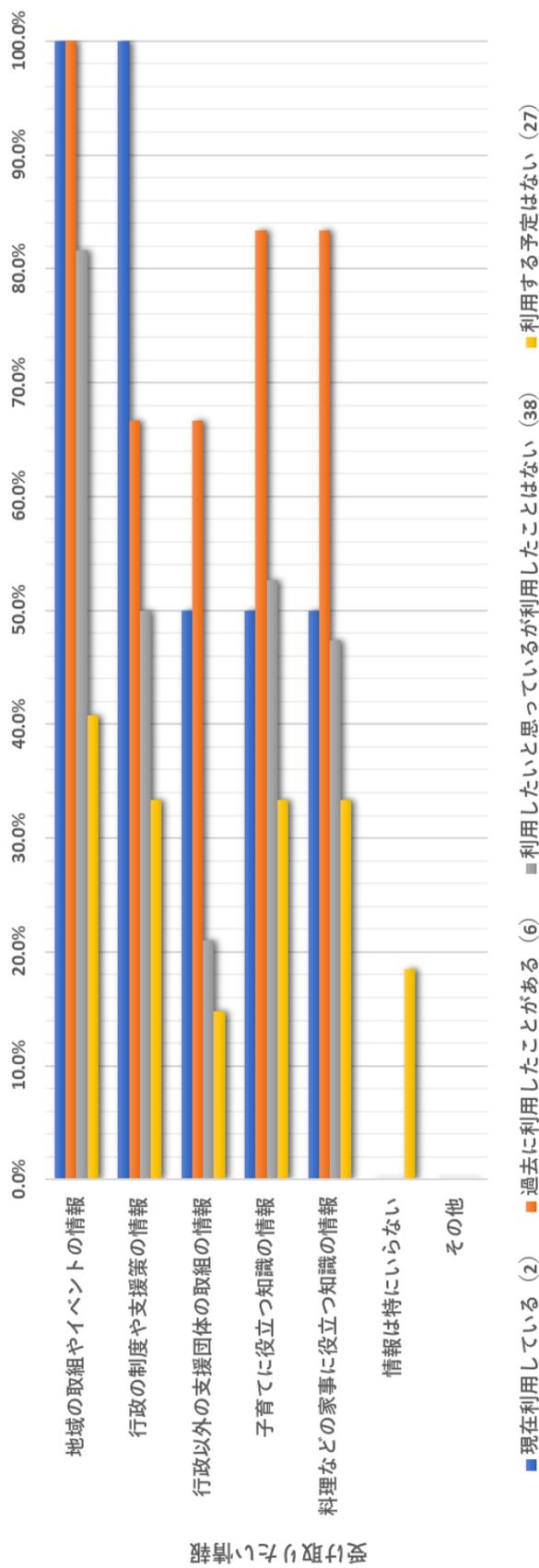


【図表2 子ども食堂の利用有無と配送による変化】

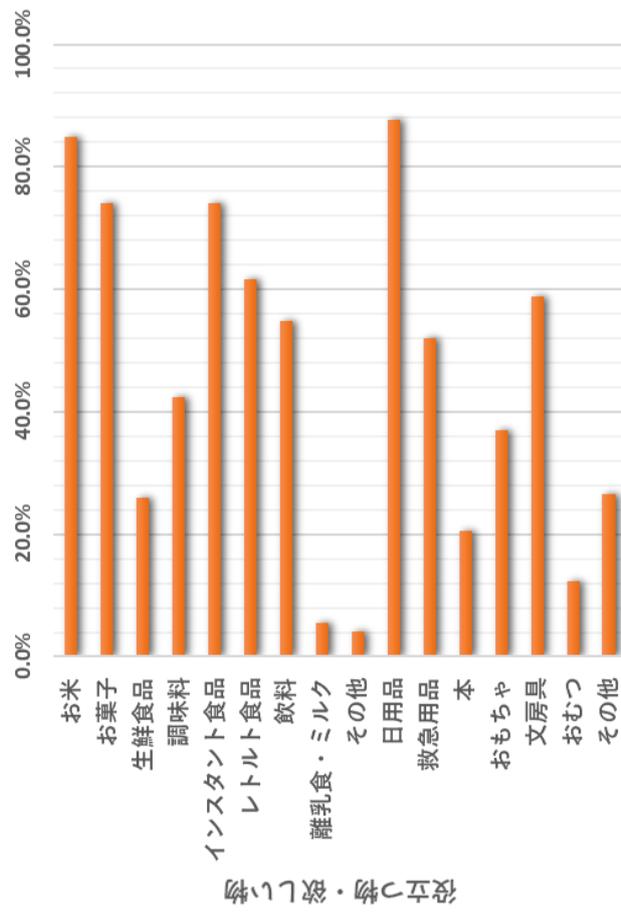
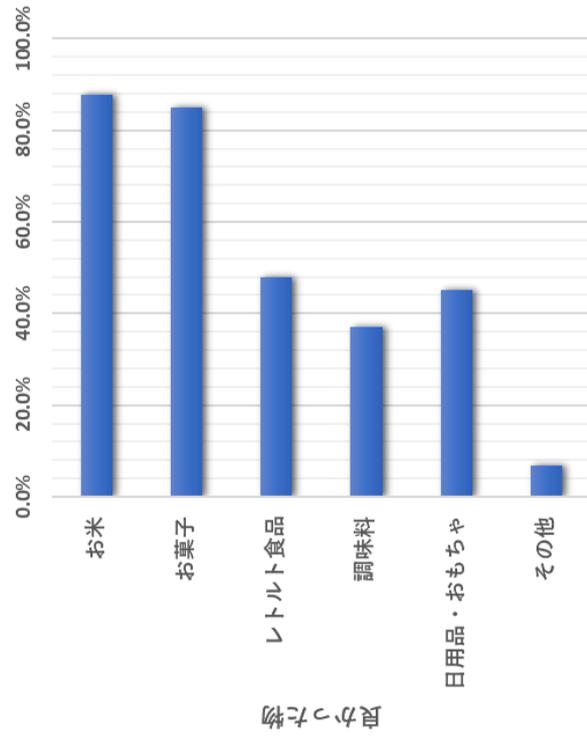
対策に選ずる情報やサービスの取り扱いたい



【図表3 子ども食堂の利用有無と理想的な情報入手手段】



【図表4 子ども食堂の利用有無と入手したい情報】



【図表5 今回良かった物と今後欲しい物】

問7) あなたは、次のものについて、これまで実際に利用したことがありますか。	n数	問11) 以下に挙げる考えのうち、ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。										
		A: 困ったとき、悩んだときの相談相手や場所がわからない					C: 行政や支援団体に支援を受けても、それを他人に知られたくない					
		とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	とてもあてはまる	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	全くあてはまらない	
全体	73	19.2	19.2	19.2	24.7	23.3	13.7	28.8	24.7	31.5	11.0	4.1
現在利用している	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
過去に利用したことがある	6	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
G: 地域の子ども食堂 利用したいと思っているが利用したことはない	38	23.7	18.4	23.7	23.7	10.5	36.8	26.3	21.1	10.5	5.3	
利用する予定はない	27	14.8	14.8	22.2	25.9	22.2	18.5	22.2	40.7	14.8	3.7	
現在利用している	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	
過去に利用したことがある	7	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	
H: 地域の学習支援 利用したいと思っているが利用したことはない	45	24.4	15.6	20.0	24.4	15.6	33.3	22.2	26.7	13.3	4.4	
利用する予定はない	18	11.1	16.7	33.3	22.2	16.7	27.8	22.2	33.3	11.1	5.6	

【図表6 地域での支援の利用有無と利用者の傾向 Vol.01】

n数	問11) 以下に挙げる考えのうち、ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。											
	B: 人に相談してもどうせ解決しない、自分自身で解決した方が良い					D: 手続きややりとりが面倒で、福祉サービスの利用を諦めたことがある						
	あてはまる	どちらともいえ ない	あてはまらない	全くあてはま らない	あてはまる	どちらともいえ ない	あてはまらない	全くあてはま らない	あてはまる	どちらともいえ ない	あてはまらない	全くあてはま らない
全体	73	13.7	26.0	39.7	13.7	6.8	13.7	24.7	32.9	24.7	19.2	9.6
現在利用している	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
過去に利用したことがある	6	0.0	50.0	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0
G: 地域の子ども食堂	38	15.8	23.7	44.7	7.9	7.9	10.5	26.3	42.1	13.2	7.9	7.9
利用したいと思っているが 利用したことはない	27	14.8	25.9	33.3	18.5	7.4	14.8	25.9	14.8	29.6	14.8	14.8
利用する予定はない	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3
現在利用している	7	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0	28.6	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0
過去に利用したことがある	45	17.8	31.1	28.9	15.6	6.7	15.6	33.3	33.3	11.1	6.7	6.7
利用したいと思っているが 利用したことはない	18	11.1	11.1	61.1	5.6	11.1	5.6	11.1	22.2	44.4	16.7	16.7
利用する予定はない												
H: 地域の学習支援												

問7) あなたは、次のものについて、これまで実際に利用したことがありますか。

【図表7 地域での支援の利用有無と利用者の傾向 Vol.02】